夕刊
いわき民報

発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集発行印刷人 田原登

藤
藤森商会
平市鍛冶町 電二九六、四七一
書庫と金庫

関内候補は女性の味方

村井女史が街頭から強調

NHKから自由党関内正一候補応援に馳せ参じたラジオ評論家村井米子女史（昨報村野園子は誤り）は二十六日は早朝から平市内の街頭に立ち

女性にもつとも深い理解を持ち誠実で高潔な人格者、関内候補を落すと平市民の恥であり国家的損失である、平市民は一名も漏れなくこぞつて関内候補に投票し、三度議政壇上に送つて貰いたい

と全市の女性に呼びかけ、電通委員長在任中アメリカを視察し、民間放送事業の開始や電話公社設立への基礎を為し、問題のテレビジヨンについても大きい貢献をもたらしたこと、平放送局の昇格とスタジオ建設など電通委員長一年半の在任中、弱電気関係電波関係で如何に大きい功績を挙げたかをあらゆる角度から報告、国会に於ては、諸法案を決定するのが委員会であり、従つて常任委員長はもつとも重要な地位で、大臣から委員長に成つている方が多い、地方では政務次官を大変偉い地位のように考えている方が多いようだが、政務次官は党と政府の連絡機関に過ぎず、昔の政務次官のような権力は全くない、関内候補は電通常任委員長を一カ年半も勤めてもつとも信望厚く、特に大臣級の大人物である、現在では国家的な人物であるとトラックのマイクを通し女性に呼びかけた

同村井女史は平市から夏井、高久両村の街頭を演説、豊間町の個人演説会に臨み小名浜町の街頭でも同様女性の有権者に向つて強く呼びかけた、同女史は毎朝六時十五分から『明るい茶の間』を担当、ラジオ評論家として聴取者に馴染み深く女流登山家としても有名な日本山岳会の主要メンバーである（写真は街頭に立つたNHKの村井米子女史）

法より心だ正しい選挙

當選標語

市教委選 激戦へ

平市教育委員の立候補受付は二十五日午後五時で締切られた、立候補者は社会党一名、共産党一名、無所属六名の合計八名で定員四名に対して二倍となつた、同日午後五時の締切り十分前に四倉町元視学吉田庄太郎氏が市選挙管理委員会で立候補の手続きを行つたが供託金納付が時間まで間にあわず受付にならなかつた、立候補の顔振れは

▼吉本キヨ（無）▼武藤弘（共）▼大谷武雄（無）▼石山一治（無）▼朗谷保高（無）▼大内近雄（社）▼渡辺久（無）▼鈴木寛一（無）

の八氏で吉本女史は教員生活十三年の周密さを強味に神谷地区の市議連が応援し地元、婦人青年層の強い支持があり日共の武藤氏は自由労務者を強い背景に早くから運動を進め、社会党の大内氏は松井代議士候補の選挙事務長をつとめる多忙な状態にあるが平地区共斗の推薦候補として組織的労組の支持を強みに運動を展開、前回市議選の雪辱なるか注目的になつている、前平一中、磐女高PTA会長をつとめ県下高校PTA連合会副会長、郡高校PTA連合会々長等の経歴をもち新教育行政面に深い造詣がある、大谷氏は市内有力家の強い支持を得て貫録充分なところをみせ、朗谷氏は旧市内東部地区の積極的支持を背景に教員生活十九年の経歴をもつ人、渡辺氏は市議、有力家等の集いである六日会から推薦され医師で俳句の師匠であり仲々の強味をみせている前市議選に苦杯をなめた石山氏は永野孝夫氏を選挙事務長に運動を始め、平窪地区から出馬した鈴木氏は第四小PTAの支持を中心に闘気の駒を進めている

市教委届出

廿五日

鈴木寛一氏

鈴木寛一（四七）無所属、農業 下平窪鍛治内三五【略歴】磐中二十四回卒 平市社会教育委員、民主委員、平地区司法保護司

町村も激戦か

教委選擧始まる

町村教委選の告示は二十五日、立候補締切りは三十日で石城郡下では全二十九カ町村いずれも実施する、このほか町村議員の補欠選挙も同時に行われる、これは豊間町一名、赤井村二名、沢渡三阪村二名、川前村一名で告示は二十五日締切りは三十日

各町村とも町村自体の重要な意義をもつ選挙だけに漸次、選挙熱が高騰して来ている、供託金が必要ないだけに出馬が多く予想され定員四名に対して可成り競争的になるものとみられている

衛生功労者を表彰

今野所長に大臣賞

片倉製糸、松本氏に局長賞

第三回全国労働衛生週間にちなみ近く日本水素小名浜工場診療所長今野正士氏（三八）は県下唯一人の衛生功労者として労働大臣から表彰される、また福島労基局長賞は事業場の部では疾病強度率零の好成績を収めた片倉製糸平工場、衛生管理者、個人の部では炭鉱衛生管理の功労者古河炭鉱衛生管理者松本文夫氏（三二）に授与される、大臣賞に輝く今野所長は昭和十五年東北大医学部卒、同二十三年一月医博の学位を得て同年二月、日水小名浜工場に入社したもので平安全衛生労災協会理事、衛生部会長などを務め現在同工場の生産品が影響する特殊病有毒ガスの人体に及ぼす影響などの研究に当つている（写真は大臣賞に輝く今野所長）

十八日から炭労研は公明選挙運動を展開する

永戸方面捜査

悪質違反に光る眼

平地区警察署では終盤戦に入つて以来各地に悪質違反発生を警戒しているが、二十六日永戸、下永井方面に捜査隊が出動した某派の悪質違反を内偵しているものゝ如くである

月平均五十二回使用

湯本公民館の利用價値上る

湯本町公民館ではこのほど四月から八月までの行事統計をまとめたが一カ月平均公民館使用回数が五十二回の多きにのぼり利用価値が高まつて来た、そのうち公民館独自の使用回数が一カ月平均十八回で殆ど青年学級関係の行事で占められ、その他の行事に至つては全然ない、四月以来運営審議委員会が一回開かれただけで行事計画はない、公民館執行部のうち毎月定例会を開き積極的に活動しているのは図書部だけにとどまつている その他の総務、社会、厚生、和楽、体育、教養各部は有名無実の存在になつており、十一月の文化祭を目前に控え自主的な行事計画を要望されている

小名濱は七名出馬

小名浜町教育委員の立候補届は二十五日午後から次の二名が名乗りをあげた、これで四名の定員に対し七名が乱立したわけで早くも激戦を展開している

▼佐藤貞吾（五四）小名浜町沖見一の四、雑貨商▼長瀬芳郎（五三）小名浜町渚廻り五一、印刷業

三名届出

植田町

植田町教委選挙は二十六日婦人会から末亡人会々長成沢マサ子（五七）前町会前公安委員長長瀬武雄（四三）前町会議員箱崎義一（六三）の三氏が立候補届出をした、このほか売炭業小野保、農業協同組合長高木一郎の両氏が出馬の模様である

市教委選に大内氏推す

共斗で決る

第七回平地区共斗会議は二十五日午後一時から平市労働会館に開き今次教委選対策に就き協議した、国鉄、古河好間、日教組、磐炭労、呉羽化学、電産の各組織代表が集まり次の通り決定した

❶平市教委選には大内近雄氏を地区共斗の推選候補者として運動する

❷町村教委選には各単組から二名を推選候補者として出す❸二

賃金闘争

磐炭労で協議

磐炭労第三回斗争委員会は二十六日午前十時半から本社楼上に開き十月以降賃金斗争に関する経過措置の件を検討次のように決定した

現協定は九月一杯で切れるため新協定が成立するまでの経過措置は現協定を百%踏襲し新協定後十月一日に朔及清算する、各山毎にこの無協定期間に賃金案を提示して来た場合は統一交渉の中で解決する、原則として実力行使を行つてもこの基本線を実施する

保健婦再教育

講習會を開く

県並びに日本看護婦協会県支部保健婦部会主催の県下保健婦再教育講習会は十月八日から十七日までの十日間毎日午前八時半から平保健所で開く、内容は社会学、社会心理学、基礎看護、受胎調節など八課目

一小の母親學校

平一小では二十六日午後一時半から同校に母親学校を開きクリーニング業伊藤信一氏を招き『洗濯の処理』につき文化講座を行った

五小の校庭整備

平五小青年会では二十八日行われる運動会に備え去る二十日から有志二十名が校庭整備のため勤労奉仕作業を行つて来たが二十五日完成した

スタンド
ちぐさ
平市大工町一九

青年文化講座

廿八日白水で

内郷町公民館の白水青年文化講座は二十八日午後七時から願成寺に開く『考古学について』講師菊池保雄氏

結核醫療費の公費負擔

近く世論調査

平保健所では昨年十月一日から施行された結核医療費の公費負担制度がどの程度の成果があるかということについて今度世論調査を行うことになつた、これは被公費患者六十五名を選定し次の項目について調査する

❶この制度は療養生活に良いか悪るいか❷公費負担額はどの位か❸手続はめんどうかどうか❹療養費は現在までどの位かゝつたか❺入院治療は何日位したか❻自宅治療は何日位したか❼その他の希望事項は

汚物の処理

内郷の調査

内郷町では汚物掃除法適応調査を行つていたがこのほど次の通りまとまつた、全戸数は八千五十二戸（人口三万八千六百七十二人）で常磐炭鉱の炭住二千八百五十九戸（人口一万五千六百九十七人）を除いたもので一日平均搬出量は一・五トン、蒐集戸数は千戸となつている、一カ月処理状況は埋立四十トンで農家に還元していたが人口増加と化学肥料が豊富なため処置に困つている、なお汚物箱は公共用百コ、個人所有は八百となつており、まだまだ足りない現状にある

天気予報

二十六日

【今晩】北のち北西の風で曇のうち小雨模様のち幾分回復する

【明日】北西の風大体くもりの天気日中割合よくなり晴間多くなる、海上今晩は北のち北西の風明日は北西の風やゝ強く波立つから特に沖合では注意を要す

洋品の店
住込女子店員募集
一、身元確実なる二十才前後の女子
一、住込可能なる者
希望者は履歴書持参、随時面談致します
待遇その他委細面談
やまと
平市三丁目 電1130

1952年
秋冬向
純毛服地と洋服
學生服
ジャンパー
合オーバー
婦人服
カネボウ毛糸
革カバン
洋品
バック
鈴木勘氏商店
第1 平市一丁目 第2 平市三丁目平和通 電732

機械編専門
あみもの機械一流品
十月二日より昼、夜 講習
平デザイナー（電四八九）土橋

シルバフォックスウヰスキー
REGISTERED TRADE MARK
SILVER FOX
Silver-Fox
WHISKY
代理店
㋥佐藤商店平支店
平五丁目 電376
スラック 二〇〇ビ

特選
袖ノ中
東京日本橋
代理店
マルサ
平銀座 電二七七

サンマ船が漂流
荒れ氣味で安否を氣遣う

江名町仲之作吉田厚さん所有サンマ漁船第六宝丸（二七トン）＝船長鈴木勘さん以下十二名乗組＝はサンマ漁場に向う途中二十五日午前二時ごろ金華山南々東二千マイルの沖合で機関に故障を生じ漂流している旨二十五日午後四時ごろ小名浜海上保安部に届出があった、塩釜から『かもめ』『ちふり』が現場附近に急行したが未だ発見されない、海上が荒れ気味なので乗組員の安否が気づかわれている

サンマ船八百
岩手沖で操業
豊漁だと指導船帰る

本県指導船磐城丸（一二八トン）は三陸から北海道沖合一帯のサンマ漁場を調査中だったが二十四日朝一週間ぶりに小名浜に帰りサンマ四千七百貫を水揚げしたが乗船した県水試漁労主任大坪技師は『今年はサンマの当り年だ』と次の如くサンマ漁場便りを齎らした

〇…今年はサンマの群が非常に多く例年に較べ十日も早めに来ている、然も魚の粒が大きく回遊量も多いので十二月十五日までのサンマ解禁期間中に現在程度の漁獲を続けても資源固渇に陥いる心配はないと思う

〇…主漁場は岩手県トド崎東北東五十マイルから百二十マイルの沖合だがこの附近は海一面がサンマだと云ってもよい位で夜は八百隻のサンマ船が電気集魚燈を使用するためさながら〝夜の銀座〟の観があり賑やかだ

〇…然しサンマの大群を前にして電気集魚燈のサンマのつき具合は悪くイルカに追われたり暖寒流の間にいるような刺戟のあるサンマ群は一般に電気付きがよいようだ、これは水温が二、三度高くなっている関係かとも思われる、また魚の粒の大小が混っているのは暖寒流の合流している附近で操業しているためらしい、なお北に行くほどサンマの粒は大きくなっている

BCG接種
第四木曜に
小名濱で決定

平保健所小名浜支所では二十五日からBCG接種、ツベルクリン反応検査、妊婦の血液検査を次の要領で実施することになった

▼BCG接種＝毎月第四木曜日（午前中）接種対象者はツベルクリン反応検査陰性者、料金十五円▼ツベルクリン反応検査、及び妊婦血液検査＝毎週水曜日（午前中）料金、ツ反応七円、検血、二十円

共募金運動
内郷で協議

内郷町では共同募金三十六万四千百円の割当てがあったので二十六日午後一時から役場会議室に委員会を開き目標額達成準備計画につき協議した委員十五名は次の通り

▼民生委員宮下秀寛、田口淳三▼佐藤武雄、松本信一、柴田コノエ、阿部マツ、菅野光義▼婦人会林出氏子、前野ハツ子、小野ロク、長谷川キワ▼一般星義雄▼寺院馬目悦雄▼主婦の会鈴木ヒサ▼未亡人会中村トシ

湯本一小PTA
經營方針決る

湯本一小PTA会では二十五日午後二時から公民館に役員会を開き二学期学校経営の基本方針につき協議次の四項目を決定した▼子供に対する父兄の関心が足りないので児童会の活動を促進する▼基礎学力の向上と研究心高揚のため発表会開催▼理工図画室の設備の拡充を図り校舎内外の美化▼保健衛生活動の一環として運動器具の購入と設備の充実

木炭の生産本格的
需要期に入り一俵廿圓上る

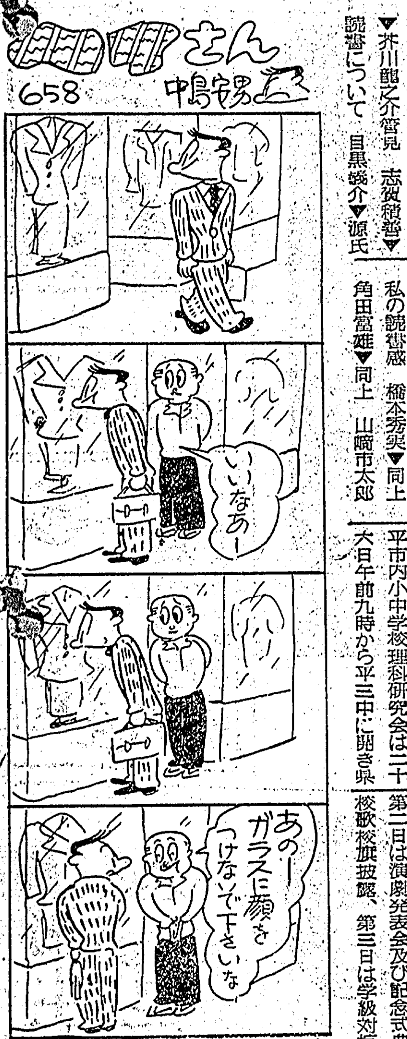
石城郡内の木炭生産は九月になって本格的段階に入り価格も今年夏場駅発一俵二百五十円乃至二百五十五円（楢丸上）から二百七十円乃至二百七十五円（二十五日現在）と二十円のはね上りで活気を呈してきた、農協組経済連平支所ではこれからの木炭価格について最高値は本年十二月ごろになり楢丸上一俵三百四十円になろうと予想、又生産者側は森林法の伐採制限で原木不足と資金不足に悩まされ今のところ出荷をしぶっている、なお生産高約六十万俵になろうと見込んでいる

指導者を選任

湯本町公民館では二十五日午後七時から青年学級運営委員会を開きクラブ活動の指導者を選任した結果▼哲学班上野英四郎氏▼科学班太田守氏▼芸術班佐藤良男氏の三名を決定、積極的に活動を展開することになった

農青連結成會

磐崎村農青連結成会は二十七日午後一時から同村小学校で開く


さん
658
中島宅男
いいなあー
あのー ガラスに顔をつけないで下さいな

讀書感想發表
廿八日湯本町で

湯本町公民館図書部主催の読書感想発表会は二十八日午後六時半から同館ホールに開かれるが応募者が十四名にのぼり盛会が予想されている、入賞者は郡大会に参加することになっており応募者及び標題は次の通り

▼芥川龍之介管見　志賀稍哲▼読書について　目黒巍介▼源氏物語新釈　渡辺健治▼朱文字について　江川丈夫▼読書の感想　鈴木康▼読書感雑記　大平博▼娘の経済白書を読みて　大平昭三▼読書について　大平悦子、織内智子合作▼罪と罰について　杉野靖▼読書感想　鬼頭政子▼私の読書感　橋本秀実▼同上　角田富雄▼同上　山崎市太郎

教育研究大會
十月十二、三日湯本で

教組第七方部（湯本地区）役員会は二十五日午後一時から湯本一小に開き教育研究大会につき協議した結果十月十二、十三の両日午前九時から公民館で行うことになり次の通り八分科会の参加校を決定した

▼第一磐崎中▼第二湯本二中▼第三渡辺中▼第四湯本一小▼第五湯本一中▼第六湯本二中▼第七磐崎小▼第八長倉小

理科研究會

平市内小中学校理科研究会は二十六日午前九時から平三中に開き県教育課から新谷指導主事を招き理科学習指導法につき座談会を行った

農協役員會議

石城郡農協組役員会議は三十日午前十時から平市堂根町石城農業会館会議室で開き第二回農協組職員大会開催日程について打合せする

會津競輪
きょうから

第八回会津競輪は前節二十六、二十七、二十八の三日間、後節は十月三、四、五の三日間となっており平市三丁目の場外売場の盛況が予想されている

郷土繪葉書
入選者決る

郵政省主催の創作郷土絵ハガキ作品コンクールの入選作がこの程決まった、本県からは小中高校九百三十点出品したうち二十八点が入賞本省の全国審査に出品される、本郡関係者次の通り

▼小学校の部　A賞志賀とし子（平三小）B賞斎藤辰夫（平一小）▼中学校の部　C賞山野辺栄（平三中）吉田ゆき子（江名中）

平三中創立
記念行事

平三中では去る七月上旬工費六百四十万円で着工した体育館が九月末日完成する予定なので、来る十一月七、八、九の三日間落成を祝い創立三周年記念式典を行うことになった、第一日は演劇発表会、第二日は演劇発表会及び記念式典校歌校旗披露、第三日は学級対抗バスケット大会を行うことになっている、なお校歌を募集したが応募作品が十数点あったので二十五日に審査を行ったが入選作はなく佳作として南町小林八重子さん、旧城跡小野多代子さんを表彰することになった

内郷敬老會
十一月三日に

内郷町公民館では敬老会開催につき二十四日協議した結果、十一月三日文化の日を卜して盛大に行うことになった、明治九年以前に生れた七十七才以上の高齢者を招くことになり方部ごとに嘱託員が高齢者の調査を行うことになった

敬老祭開く
廿八日好間二小

好間二小では二十八日午前八時から第六回健康祭並に敬老祭を行い七十才以上の老人を招いて慰安する

湯本土木委會

湯本町土木委員会は二十四日午前九時から開き常磐交通から陳情があった八坂神社下のバス交叉点貸与につき協議した結果、町区連合協議会で決議することになった、なお湯本二中グランド整備は工費九十万円で着工することを決定午前十時半散会した

民生常務委改選

小名浜町ではこの程民生委員常務委員の改選を行った結果、常務委員に和田伝吉氏を再選、副常務委員には堀越定吉、松田美枝の両氏を推した

JOHQ
（27日）

前六・三〇　村のたより町のたより『農協だより』
前七・三〇　楽しい生活
後四・四〇　私達の音楽『箏曲』
後七・四五　週間トピックス
第二
前八・一五　季節の家庭仕事『秋の食中毒について』保健所関係者

洋服は あかや

♨ 金水 電四四二

27日より三本立
丹下左膳
水際立った面白さ！
剣の阪妻
明眸淡島
の初顔合せ痛快篇！
同時上映 湯の町しぐれ 井川邦子 高橋貞二 佐々木米若口演
アメリカ映画 裸と太陽 健康と日光の話
共演 高田浩吉 喜多川千鶴 三井弘次 菅井一郎 大友柳太郎 かつら五郎 村田知英子
平舘

トヨタミシン
平市二丁目本通り
電話一二三番
石川ミシン商會

江戸前壽司
割烹 小料理 和洋食 そば
◇明るく衛生的で手軽く安い奈加やの味覚をゼヒ!!
出前迅速
奈加や
平才槌小路電395

時計はホシノ
平・中央通
電一三六四

銘菓
新製おみやげ品
からくり
いづみ家
平市五丁目電一二七四

酒蔵 しらぎく
田町 電五四

大黒屋は充実した買い良い売場にすべく懸命の努力中です

27土 28日 29月 30火 → 4日間
期末決算
大棚ざらい
赤札奉仕・赤札大見切
半バ物・品いたみ品
残品・問屋残品をも
含めての大奉仕
平店・湯本店・小名濱店一齊
皆様の利益を護る店
大黒屋
平・湯本・小名濱

只今大黒屋平支店は売場配置替のテスト中ですしばらくの間御不便御容赦願います